

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	0	0	10

前回の改善計画
 今後も継続していくであろう新型コロナウイルスにおける感染対策をしながら、並行して最初の利用で本人が安心して少しずつ緊張がほぐれ徐々に慣れるようにスタッフが気遣い、丁寧に穏やかに接していく。本人に聞きにくい事や本音をなかなか聞けない事も多い。また、本人、とくに家族からの情報がタイムリーに職員間で共有できていないことがある。軒下マップとセンター方式を活用しながらも把握した情報を支援につなげられていない場合があるのでつなげられるように行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 令和3年においても新型コロナウイルスでの感染対策においては事業所内、面会、訪問等の制限を強いられ満足は得られるような関わりや事業所サービス提供がなされていなかったことと痛感しています。
 本人からの直接的に情報を聞き出すことについては日頃からの日常会話から上手くさりげなく聞く事ができた。初期支援としては、最初は丁寧に寄り添って親しめる関わりを行っていく事ができた。
 センター方式や軒下マップの活用を多くして改めて得た情報をその都度追加していった。
 情報共有では、毎朝のミーティングで申し送る業務日誌をより分かり易く確実に共有できるようにひとまとめにし、赤字、青字、黒字で分けることで優先すべき情報が確実にスタッフ同士で共有が出来た。また、昼と夕方に申し送りの時間をとったことでもスタッフ全員に情報の把握については充実した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①利用開始前のご利用者、ご家族との関りは、ホーム長田中、もしくはケアマネ岸和田が基本的な情報やニーズをあらかじめお聞きし情報をまとめカンファレンスにおいてスタッフと情報を共有した。
 ②事業所内においては、全スタッフが情報共有できるよう毎朝のミーティングにて申し送りノートを活用し共有している。支援の実際においては、本人や家族の声に丁寧に耳を傾け、信頼関係を大切にしたい関わりを心がけた。
 ③最初の通いや訪問でも事前の情報をもとに丁寧にゆっくりと時間をとり、安心できる態度や活動を行うよう心がけた。最初から馴れ馴れしくならないよう丁寧に寄り添って関係性を作っていった。
 ④軒下マップやセンター方式を活用しご本人、ご家族の不安を見出しスタッフが共有できるよう申し送りノートを確実に確認して特に意識して傍に優しく寄り添い安心できる雰囲気を作った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ③本人がまだ慣れていない時期においては、利用の間もない時期は特に気遣いや配慮が弱くなっている。本人に聞きにくい事や本音をなかなか聞けない事も多い。また、本人、家族からの情報がタイムリーに職員間で共有できていないことがある。軒下マップとセンター方式を活用しながらも把握した情報を支援につなげられていない場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 今後も継続していく新型コロナ禍における感染対策をしながら、並行して最初の利用で本人が安心して少しずつ緊張がほぐれ徐々に慣れるようにスタッフが気遣い、丁寧に穏やかに接していく。本人に聞きにくい事や本音をなかなか聞けない事も多い。また、本人、とくに家族からの情報がタイムリーに職員間で共有できていないことがある。軒下マップとセンター方式を活用しながらも把握した情報を支援につなげられていない場合があるのでつなげられるように行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	0	0	8

前回の改善計画
 以前は出来ていたことや好きなことも徐々に意欲も低下してきている。「～したい」ではなく「何にもしたくないわ」という声が増えてきているのが現状である。スタッフとして本人の楽しさ、役割、生きがい等をどのように探り出すか、また、様々な今ある材料をもとにどのように楽しく活動することができるのかをスタッフのスキルをさらに高めないと取り組むことが出来ない段階へとなってきている。

前回の改善計画に対する取組み結果
 本人から「～したい」と直接伺ったり、家族に確認しているが、昔は得意としていたことや好きなことも段々と意欲が落ちる事が現状である。今年度もコロナ禍の状況において様々な活動や地域交流が中止となった。しかし、イベントとして毎月テイクアウトランチ(お寿司等)とマイクロバスツアーを活動としてコロナ禍の合間を見定めて行くことが出来た。バスツアーに関しては各ご利用者の方に「どこに行ってみたいか」をお聞きし福井、山中温泉等行く事が出来た。コロナ禍の状況であっても感染対策を行いながら、本人の「～したい」というスタッフの意識を高めることができた。実行できたことについてはさらに「～したい」を求め、できていない場合はなぜできなかったか検討することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	9	1	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	0	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	2	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①本人の目標については、毎月のカンファレンスにおいて目標期間(3ヶ月)に合わせスタッフと本人、家族の目標を確認している。こちら側や家族の目標になっていないか。本人の今の目標になっているかを確認した。
 ②本人の「～したい」は伝えることができる方や家族からの聞き取りで確認をし、プランに掲げ実行した。またライフサポートプランを「日々の記録」の各利用者のページに関してスタッフが常に意識できるようにし、さらに日々の記録の上段に本人の目標をスタッフが手書きで書き加えて行くようにし常に把握ができるようになった。
 ③本人から直接発信が出来る方は意識せずとも支援が出来ているが、発信の難しい方はスタッフの意識がないと出来ていない。発信の難しい方は家族からの聞き取りを十分に行った。また、本人はこうしたいであろうという想像を思い少しづつ実施していった。
 ④定期的(毎月)なカンファレンスや日々のミーティング等で話し合い次の対応に活かしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①②本人の目標等は把握できているが、具体的な支援方針までは把握できていない。
 ③事業所全体の業務等が優先されてしまい、個別の支援が不十分なことが多くある。
 ③④「～したい」ときのその日その瞬間に対応や支援するとき、スタッフの体制や時間帯等で対応が難しいことが多い。なぜその時に出来なかったのか、何が原因だったのかをミーティングで振り返ることが少なかった。発信の難しい方へのプランニングや家族からの聞き取りが十分ではなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 以前は出来ていたことや好きなことも徐々に意欲も低下してきている。「～したい」ということがスタッフは本人の楽しさ、役割、生きがい等をどのように探り出すか、また、様々な今ある材料をもとにどのように楽しく活動することができるのかをスタッフのスキルをさらに高めないと取り組むことが出来ない段階へとなってきている。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	6	0	8

前回の改善計画
 日常生活においての以前の暮らしやその方の行ってきた事等を把握し、ニーズとともに「楽しみややりがい、生きがいやつてみたいことなど」を探し出しスタッフも一緒になって活動できるようなスタッフのスキル向上に努めていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
 日常生活の支援については、同居している家族、同居していない家族にもスタッフはお話する意識を持つように心がけた。遠方の方は電話で連絡するようにも心がけていてお話は出来ました。しかし、以前とは状態や状況も著しく変化しているご利用者の方もおられその現状に合わせた日常生活の支援を行った。
 支援を提供するにあたっては、こちら側の過剰な支援になっていないか。家族の協力は何かができるか。本人を取りまく協力者は何か出来るのか等を軒下マップの確認をした。実際には具体的な支援で上手くいった状況となかなかうまくいかなかった状況があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	8	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	3	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	4	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	5	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①自宅での生活環境を理解するための「以前の暮らし方」が10個以上の把握は出来ていない。しかし、ポイントを押さえた理解はみんなで共有をして整えている。また、本人の日常生活やこれまでの背景をすぐに理解することは難しいが、少しずつ情報を得ていくようには心がけた。情報が以前のままになっていて情報の更新になっていない事が多かった。
 ②本人の思いや体調の変化等について、日々の関わりの中で本人の言葉や表情、行動から得る些細な気づきを行いながら、基礎的な介護の支援は出来た。
 ③本人の言語化については、スタッフはその方の想像を豊かに考え色々な事を試した家族に確認して努めた。
 ④本人の体調についてはちょっとした変化がある時は直ぐに他のスタッフと確認しホーム長もしくはナースに確認を行ない速やかに対応した。気持ちの変化についてもすぐに寄り添い訴えに丁寧に耳を傾けている。
 ⑤即時的に対応は行えている場面は多く、本人の訴えや心配事等の対応をし安心感や癒しに努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①自宅での生活環境を理解するための「以前の暮らし方」が10個以上把握は出来ていない。しかし、ポイントを押さえた理解はみんなで共有をして整えている。また、本人の日常生活やこれまでの背景をすぐに理解することは難しいが、少しずつ情報を得ていくようには心がけている。情報が以前のままになっていて情報の更新になっていない事が多い。
 ②なかなか自ら表出できない方の声やニーズを把握しているのかと言えばそうではない。しかし、様々な情報をアセスメントして、そうであろうと予測して活動を支援している。また、家族からの情報を聞き取り活動した。
 ③勤務体制や他の方の対応をしていて即時的に対応できない場面もある。その時でもこういう理由で今は出来ないが後で必ずできるということを伝え約束して行った。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 自宅での生活環境を理解するための「以前の暮らし方」の把握も大切だが、現在の身体や気持ちの状態に合わせたポイントを押さえた理解をスタッフで共有し、整えて行くことを大切に考える。本人の体調管理、気持ちの変化にも即時的に支援できるチーム作りを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	3	3	0	9

前回の改善計画
 コロナ禍の状況が今後も継続となってもご利用者との家族や地域との関係性やその方を取り巻く多くの方々との関係性が継続出来るよう支援に努めていく。
 地域の民生委員との関係性や地域資源の活用に努めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ライフサポートワークや軒下マップを活用し把握に努めるよう努力した。しかし、コロナ禍の状況において積極的な情報の収集は出来なかった。特に軒下マップを中心にご本人を取りまく人や環境と一緒にサポートが出来なかった。利用者事業所が直接接していない時間(自宅での時間等)については、送迎時等に少しでも家族の方等に話を伺い把握することに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	2	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	6	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①本人の生活スタイルや人とのつながり、場とのつながりについては、軒下マップを活用し把握に努め理解をしている。新しい情報は業務日誌・日々の記録に落とし込み、毎朝・昼のミーティングで共有に努めた。
 ②家族・介護者には介護疲れはないか。無理をされていないか等でお話や時には愚痴を聞き、精神的な支援にも努めた。地域との関係についてはコロナ禍の状況ではあるが、感染対策に努め切れないう電話や事業所の玄関先での数分の面会等を行った。
 ③事業所が直接接していない時間については、送迎時等に少しでも家族の方等に話を伺い把握することに努めている。
 ②④地域の行事にはなるべく本人と積極的に参加し、そこで出会う方々との交流からつながりを把握することがある。民生委員とは常に連携を取っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ④コロナ禍の状況においては、法人での感染対策に準じ面会や地域外出等の制限を行った。その状況下においても本人の持つ地域資源の把握には努めたが十分に把握できていない利用者の方もいる。特に「通い」中心の方の把握が不十分な場合がある。
 圏域外の民生委員の把握や地域資源の把握ができていない場合が多い。
 軒下マップの情報がそのままになっており、古い情報のままになっているため更新が必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 本人と家族、地域や地域資源との繋がりが把握できる「軒下マップ」の更新に努めて行く。「軒下マップ」の活用を十分に行い、地域とこれからも繋がっていく支援を行っていく。
 地域の民生委員との関係性や地域資源の活用に努めて行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	3	5	0	10

前回の改善計画

日々の支援において、その日・その時・その瞬間の本人のニーズには、スタッフの体制やその時の状態によりなかなか対応が難しく対応できていない。その日のスタッフの意識を高め、体制が整えてドライブや散歩などのニーズに応じた対応は行えるよう努めていく。その瞬間というタイムリーな対応ができるよう心掛け、実際に本当に要望に応えられるように努めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

日々の支援においては、コロナ禍の状況においてテイクアウトランチ(握り寿司)とバスツアーの活動ができた。バスツアーに関しては、日頃の乗用車でのドライブとは違い、マイクロバスでのお出かけはちょっとした旅行気分が味わると利用者からの喜びの声をたくさん聴くことが出来た。本人と家族の思いについては、本人の思いに寄り添うことを大前提にしながら、家族の介護疲れや心理的な支えになることにも努め、本人の望む暮らしに向けて家族もチームの一員として応援してもらえる関係づくりに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	4	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	5	3	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

②本人の状態やニーズに応じた支援については、急な「通い」や「宿泊」にも出来る限り柔軟に対応できるようスタッフ間で相談し対応に努めた。それでも定員の関係等で要請に応えられない場合でも、他の支援で対応できないか検討し、本人や家族が安心できるような対応に努めた。

③本人の変化については直ぐに気づき速やかに対応が出来る。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①コロナ禍において事業所の感染対策での制限を行ったことで事業所のイベント、暦行事、月参り、おでんの会、老人会の方や子供会、地域のボランティア等の方々に協力を得ることも出来ず活動の実施は出来なかった。

②「通い」「訪問」「宿泊」が本人の思いよりも家族の思いが優先される場合が特に大きい。その場合でも本人へのニーズに対応し家族の方もお話をして理解を出来る限り得た。

④日々の支援において、その日・その時・その瞬間の本人のニーズには、スタッフの体制やその時の状態によりなかなか対応が難しく対応できていない。またコロナ禍という制限の中でのニーズに対応した活動は全くと言っていいほどできない。その瞬間にというタイムリーな対応ができればと心掛けているが、実際には要望に応えることができないことが多くある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

コロナ禍において事業所で決められた感染対策という制限の中、日々の支援において、その日・その時・その瞬間の本人のニーズには、スタッフの体制やその時の状態によりなかなか対応が難しく対応できていない。スタッフが意識を持ち続け、利用者のニーズに対応できるように努めて行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	7	1	10

前回の改善計画
 コロナ禍の状況であっても、その他のサービス機関との連携、自治体やこころまちセンターとの連携、地域各種機関の活動、イベントへの参加、地域老人会、子供会、その他団体等との関係性を維持出来るよう努めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
 コロナ禍において当事業所での感染対策では面会、外出、地域交流等の活動の制限が行われ、地域の活動やイベント(元気クラブ、はしたてフェスタ、防災訓練等)、各種会議への参加はほとんど中止となったが、法人のフェーズが下がった状況に応じ、地域活動、サロン等の参加する努力もした。
 コロナ禍の状況に応じて法人でのフェーズに沿い、感染対策を十分に行いながら出来る限り地域活動の参加を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	0	2	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	2	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	8	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①必要に応じて、他のサービス機関や包括との連絡会、町内の行事等は全て行えなかったが、地域との関わりはコロナ禍においても関係性が切れぬようにお声かけや挨拶などで関わった。
 ②ほとんどが中止となり事業所でも参加の自粛を行った。はしたて元気クラブは事実上解散となったが、地域の再開して欲しいという声が多く、地域の方々が立ち上がり再開の方向で進められた。
 ③本来行ってきた事業所の行事(月参り、おでんの会等)を通しての子どもも含めた地域の方やサービス機関の方の来訪も自粛させていただいた。
 ④本来なら地域の子どもの通学の途中でトイレを借りに来たり、流しそうめんやハロウィン、クリスマス会のイベントに訪問してくれていたがコロナ禍の状況のため来訪の制限により中止した。ただ、今後も変わらず事業所が地域の一人として認識していただいているようさらに努めて行きたい。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①②③④については、新型コロナウイルスでの感染対策にて法人の定めたフェーズに従い、また毎週行われている共友会の「新型コロナウイルス感染対策チーム会議」で決定した事項に沿い事業所の運営を行っている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 コロナ禍の状況であっても、その他のサービス機関との連携、自治体やこころまちセンターとの連携、地域各種機関の活動、イベントへの参加、地域老人会、子供会、その他団体等との関係性を維持出来るよう努めて行く。地域との活動が感染対策を行うことでできないかの工夫や検討をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

7. 運営

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	0	9

前回の改善計画
<p>スタッフのモチベーションを維持や向上していくためにもお互いのコミュニケーションは大切にしていける。事業所の理念を大切に考え、本人を中心に、家族、小規模多機能ホーム、地域、本人を取りまく方々等との日常生活において互いに支援したりされたりといったごく当たり前の暮らしを見守っていく。</p> <p>地域の方からの意見を反映させるためにもコロナ禍の状況であるが関係性を大切にコミュニケーションに努めていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>毎月のスタッフ会議では苦情やアクシデント等の話し合う時間を作り対処法や今後の取組等について話し合えた。スタッフ個々でのモチベーションや悩みなど面談をしてコミュニケーションを取った。</p> <p>コロナ禍の状況で身体的にも精神的にも疲労が蓄積しストレスに感じているスタッフもいる。さらにはスタッフ家族やスタッフの濃厚接触者・陽性者となり自宅待機を余儀なくされ事業所の体制やスタッフ、そして待機となったスタッフのメンタルケアを十分にフォローした。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	6	1	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	3	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	<p>スタッフ会議やカンファレンス、ミーティング等でスタッフは、利用者や家族のニーズや課題の意見をはっきりと伝えることができた。</p> <p>②日々の関わりで得られる利用者や家族の意見を通して把握できる地域の方の声は真摯に受け止め、事業所の質の向上に活かせるよう努めた。</p> <p>苦情やアクシデント等は毎月のスタッフ会議で検討し今後のあり方について話し合いリスクマネジメントに努めた。</p> <p>③地域からの意見や苦情はその日その時に速やかに確認してすぐに対応している。</p> <p>④地域の方々に協力を頂いている流しそうめん、柿の葉寿し、おでんの会の開催はコロナ禍により中止した。本来行っていた暦のイベントにおいて長寿会、子供会、学童等にお声かけし沢山の方々にお越しいただき交流をはかっていたが、コロナ禍の状況にて中止となったが今後も関係性が途切れることなく継続出来るよう努めて行く。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	<p>良い意見を持っているのに上手く伝えられないスタッフもいるのでホーム長は定期的にそのスタッフにならげに話しかけてコミュニケーションを取っていく。仕事に対してのモチベーションの維持を図っていくためにもチームとしてみんなで支え合い、思いやりのあるきもちを大切にしていけるようにホーム長、ケアマネがスタッフをまとめていく。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>スタッフのメンタルケアについて、ホーム長が個々に日常会話もしくは面談等を行いストレス、モチベーションなどを確認し把握に努めて行く。スタッフ同士の思いやりを大切に考えられるようなチームを作る。お互いの持ちつ持たれつな関係性が築けるように考えていきたい。事業所の理念を大切に考え、本人を中心に、家族、小規模多機能ホーム、地域、本人を取りまく方々等との日常生活において互いに支援したりされたりといったごく当たり前の暮らしを見守っていく。</p> <p>地域の方からの意見を反映させるためにもコロナ禍の状況であるが関係性を大切にコミュニケーションに努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月30日(17:45~19:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	田中・岸和田・加藤・川村・道端 宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	1	3	1	8

前回の改善計画	<p>コロナ禍の状況ではあるが、今後の資格取得へのモチベーションを上げ意識を高めていく。 研修や学習会等への参加について、家庭の事情やパートの方等の参加体制を整え、または後日参加したスタッフが伝えていく。 スタッフのスキル向上に向けた研修には積極的に参加を促していく。 リモート研修等における設備を整える。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ禍の状況ではあったが、中止にならない研修もあり、リモートによる研修も増えた。事業所内研修・学習会等もリモートで行い参加が出来た。 法人内学習会では、講義録画をYouTubeを立ち上げて配信し、気軽にスタッフが閲覧できる工夫をした。 加賀市の研修や外部の研修にもリモート等における研修には積極的に参加する事ができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	1	3	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	2	2	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① コロナ禍においても研修は順番に受けることが出来た。また、法人内での委員会や学習会はコロナ禍の状況を見てリモート等で研修が出来た。 ② 本来に必要なスキルアップのための研修や更新研修は積極的に参加ができた。 ③ ブランチ連絡会やブロック連絡会へはブランチ責任者やスタッフが参加できる体制を整えた。 ③ アクシデントがあった場合は速やかに法人本部と家族に報告し、振り返りを行い再発防止に努めた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>① コロナ禍の状況のため行えなかった内部研修は多くある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナ禍の状況ではあるが今後の資格取得へのモチベーションを上げ意識を高められる雰囲気を作っていく。 研修や学習会等への参加については、講義録画をYouTubeで配信し気軽に閲覧できる環境を整える。家庭スタッフのスキル向上に向けた研修には積極的に参加を促していく。 リモート研修等における設備を整える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月30日(17:45~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 田中・岸和田・加藤・川村・道端
宮本・南川・上出・小谷・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4	1	0	9

前回の改善計画
日常生活において虐待や身体拘束についてはスタッフ個々の意識と態度が一番大切なこととなる。そのためにも定期的に研修や学習会、スタッフ同士確認し合い確認する必要は高い。またグレーな部分や虐待ではないと思いついてしまっていることもある。利用者一人一人を改めて再確認していく必要性はある。利用者のプライバシーについても日頃からのスタッフの意識を高く持ち、常に丁寧な関りをスタッフ同士が確認しながらお互いに指摘し合える雰囲気を作る。トイレやお風呂での確認せずに戸を開けてしまうことやお泊り部屋の戸を開ける行為など。ちょっとしたことでプライバシーは厳守しないとイケない。

前回の改善計画に対する取組み結果
虐待・身体拘束、行動制限等の権利侵害について、実践的にどんなものが該当するか(身体的虐待、介護・世話の放棄、心理的虐待、経済的虐待、フィジカルロック、ドラッグロック、タイムロック等)については法人内での権利擁護の研修を行っている。法人内の権利擁護・個人情報保護委員会で職員全員が日々の関わりでの点検を行えるよう、マニュアルの中に「チェックシート～権利擁護のための実践～」を振り返り行っている。
実例として、今まで穏やかに過ごされていた方が、身体の痛みと共に大声で怒ったり暴力行為もあり、静止するという意味で行っていたことが行動制限という状況を作ってしまった。すぐにスタッフ会議を開き、なぜそのような状況が出来てしまったのかを話し合い、本人とご家族に状況の説明をした。事例検討会として法人全体で考え、改めてスタッフの意識とスタッフ同士の確認出来る関係を作っていくことを考えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	3	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	3	4	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	1	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②権利擁護の視点を常に持ち、日々の関わりにおいて、虐待や身体拘束にあたる行為を自分たちがしていないか確認している。また、本当に虐待や身体拘束にあたらぬ行為になっていないかどうか、さらにグレーな状況ではないかどうか、スタッフ会議、カンファレンス、毎日のミーティングで話し合っている。法人内研修において、「権利擁護・虐待について」の研修を行い「虐待では？」と自分たちが感じる事例を出し合い、話し合いの機会を持つことで、権利侵害をしない実践ができる視点を養っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③プライバシーについては、申し送り等で、大きな声で話してしまい、配慮が不十分な場合がある。
トイレやお風呂など確認をせずにつつい戸を開けてしまう場面がありスタッフの意識が欠けている。
④時々、日々の記録が他の利用者の目に入るところに広げたままになっていることがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
虐待や身体拘束については日常生活においてスタッフ個々の意識と態度が一番大切なこととなる。グレーな部分や虐待ではないと思いついてしまっていることもある。利用者一人一人を改めて再確認していく必要性はある。定期的に研修や学習会、スタッフ同士確認し合い確認する必要は高い。
利用者のプライバシーについても日頃からのスタッフの意識を高く持ち、常に丁寧な関りをスタッフ同士が確認しながらお互いに指摘し合える雰囲気を作る。トイレやお風呂での確認せずに戸を開けてしまうことやお泊り部屋の戸を開ける行為など。ちょっとしたことでプライバシーは厳守しないとイケない。